

1. 研究活動

[ワークショップ]「中州のみんなの資源ってなんだろう」	2011. 6. 1	東京都日本橋中州地区 中州自治会	地域の可能性と今後の地域活動における展望をさぐるための、住民参加型ワークショップ。 Metadesigners Network Japan 主催
-----------------------------	------------	---------------------	---

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目 デザイン理論		多様な学問領域と重なりながら広がるデザイン理論を様々な角度から捉えられるよう、近代デザイン思想、経験、テクノロジー、エコロジー、認知・行動、コミュニケーション、文化形成など、それぞれ異なったテーマを立て、それに沿って具体的な理論や事例を交えながら解説した。
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業の最後にその時間の内容と関連するテーマを与え、ミニレポートを書く時間を作り、書きながら考えるという体験を積み重ねられるようにした。また、次の授業冒頭にはそれらの中から数点のミニレポートを紹介しながら、関連する視点や事柄についてさらに解説を加えることを繰り返し行った。	難解な理論もできるだけ身近に感じられるよう、画像を多く使ったスライドを毎回用意した。興味を持った理論を学生自身が引き続き探求できるよう、授業で扱ったテーマごとの参考書籍リストを作成した。	
授業科目 コミュニケーション論		前半の授業では、コミュニケーションの基礎理論を扱い、根本的なところからコミュニケーションとは何かを考察し、コミュニケーションデザ
<input type="checkbox"/> 前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	

<p>出来るだけ最新の具体的事例を使い、コミュニケーションや地域に関わるデザインについて理解を深められるようにした。</p>	<p>できるだけ授業内容が身近に感じられるよう、画像中心のスライドを毎回用意した。加えて、効果的に映像資料も使用した。</p>	<p>インへのより深い理解へと繋げた。授業の後半では、そのコミュニケーションデザインをどのように地域コミュニティのために活用することができるのか、社会的背景や具体的な事例を通じて解説した。</p>
<p>授業科目 デザイン概論</p>		<p>デザイン学部1年生を対象にした本講座では、「デザイン」に対するより広い視野を獲得することを目的とした。</p>
<p>◆前期 □後期</p>		<p>加えて1年次の基礎授業が2年次以降の専門性とどのように繋がっているのか意識的に理解し、2年次以降のより具体的な進路選択に活かすことも意識させた。講座の後半では、オープンディスカッションや先輩によるトークも交えて展開した。</p>
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>自身が講義を担当する回では、より幅広くデザインの世界を理解してもらえるよう、できるだけ多くのジャンルから、これまで携わってきた作品を紹介し、併せて自身のデザイン観を示した。</p>	<p>デザイン学部1年生を対象にした本講座では、「デザイン」に対するより広い視野を獲得することを目的とした。加えて1年次の基礎授業が2年次以降の専門性とどのように繋がっているのか意識的に理解し、2年次以降のより具体的な進路選択に活かすことも意識させた。講座の後半では、オープンディスカッションや先輩によるトークも交えて展開した。</p>	
<p>授業科目 デザイン基礎演習 B</p>		<p>かたち・コンテキスト・流通・歴史・経験という視点から、詳細なリサーチをくりかえし、最終的にはそのリサーチ結果を編集しプレゼンテーションする、という一連の作業を通じ、自身の日常経験や生活環境がいかにデザインと関わっているのか、またそれらを支えるデザインがいかに他のものや環境と関わっているのか意識的に理解させる授業展開を行った。</p>
<p>◆前期 □後期</p>		<p>かたち・コンテキスト・流通・歴史・経験という視点から、詳細なリサーチをくりかえし、最終的にはそのリサーチ結果を編集しプレゼンテーションする、という一連の作業を通じ、自身の日常経験や生活環境がいかにデザインと関わっているのか、またそれらを支えるデザインがいかに他のものや環境と関わっているのか意識的に理解させる授業展開を行った。</p>
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>細かく毎授業ごとにテーマを設定し、それらを積み重ねるうちに、デザインの広がりやディテールの両面を意識できるよう、授業全体を計画した。</p>	<p>円滑に授業内容を理解し、作業が進められるよう、授業の要点を解説するプリントと、内容に沿ったワークシートを毎回用意した。</p>	
<p>授業科目 デザイン実技Ⅱ-3 (LS)</p>		<p>日常生活で人が無意識に環境を「理解」し「利用」する行為を取り上げ、それらの子細に観察、分析し、その気付きから制作を行った。リサーチから制作への展開を含む一貫したプロセスを通じて、環境や認知、行動に対する洞察力を伴った、環境の持つ「可能性」からのデザイン発想を体験させた。同時にこれまでのデザイナー（制作者）と利用者という二元的な解釈にも意識を向けさせた。</p>
<p>□前期 ◆後期</p>		<p>日常生活で人が無意識に環境を「理解」し「利用」する行為を取り上げ、それらの子細に観察、分析し、その気付きから制作を行った。リサーチから制作への展開を含む一貫したプロセスを通じて、環境や認知、行動に対する洞察力を伴った、環境の持つ「可能性」からのデザイン発想を体験させた。同時にこれまでのデザイナー（制作者）と利用者という二元的な解釈にも意識を向けさせた。</p>
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>生活観察の導入としてワークショップを実施した。また、リサーチから制作物への展開がよりスムーズになるよう、それぞれのステップ毎にワークシートを作成した。加えて、プレスト法やラピッドプロトタイプング等、アイデアを展開する具体的な手法を導入した。</p>	<p>それぞれのステップ毎に作業の助けとなるプリントを作成した。日常観察の導入となるテキストを用意した。課題書は成果物と条件、スケジュールが簡潔に理解できるフォーマットで用意した。</p>	
<p>授業科目 立体造形 (多面体と植物文様)</p>		<p>デザイン学部一年次で実施するファンデーション (基礎実技) の専任として、課題内容、配布物、スケジュールリングやスタッピング等、総合的な視点からファンデーション管理運営に関わった。基礎実技の改定に向けた検討も同時に行った。</p>
<p>◆前期 □後期</p>		<p>デザイン学部一年次で実施するファンデーション (基礎実技) の専任として、課題内容、配布物、スケジュールリングやスタッピング等、総合的な視点からファンデーション管理運営に関わった。基礎実技の改定に向けた検討も同時に行った。</p>
<p>工夫の概要</p>	<p>教材・資料等の概要</p>	
<p>毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、植物のなかに見られる、幾何学的要素に気付き、多面体へと展開できるよう指導した。</p>	<p>植物の中に見られる幾何学的構造に意識的に目が向けられるような画像資料や、多面体や植物文様を利用したデザインの実例などをできるだけ多く紹介した。</p>	

授業科目 デザイン実技 I (F1) - ミメーシス (模刻)・色彩・平面構成	
◆前期 □後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に平面構成では、既存の構成の枠組みにとらわれない、観察に基づいた表現になるよう指導した。	過去の参考作品を効果的に使いながら、どのように観察し、アイデアを展開するのか、実例を通じて指導した。
授業科目 デザイン実技 I (F2) - 知覚とイメージーション	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に変化の仕方や動き方の多様さ、非現実的な変化の中に現れる現実感に気付くことができるよう指導した。	最終的な作品制作の前段階としての、スケッチでのアイデア展開では、他の人の事例を紹介しながら出来るだけ広くアイデアが広げられるようにした。
授業科目 デザイン実技 I (F3) - ピクトグラムとタイポグラフィーを使って自分自身を表現する	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
毎回、全員と面談をし、課題の進捗状況や次回までの具体的なアドバイスをを行った。特に、抽象化や記号化の大切さ、アイデアを伝わりやすいかたちに展開する必要性、また、文字のデザインについての理解を深められるよう指導した。	道具の使い方については実際にデモンストレーションを行った。ピクトグラムやタイポグラフィーの好例を出来るだけ多く紹介した。加えて、街の中で見かけるピクトグラムを収集し、日常で使われるピクトグラムの実例として紹介した。

3. 学会等および社会における主な活動

基礎デザイン学会	2010～	研究会参加等
日本デザイン学会	2011～	研究会参加等
メタデザイン研究会 (Metadesigners Network Japan)	2008～	研究会、ワークショップ等主催
[講評会] 岐阜県立岐阜総合学園高等学校 卒業制作展 講評会	2011. 02. 21	卒業制作展講評